



**飯館村の母ちゃんたち**  
 監督 / 撮影：古居みずえ  
 95分 / 2016年

全村民避難から五年

へこたれない母ちゃんたちの愛しき友情ストーリー

菅野榮子さんは、孫に囲まれた幸せな老後を送るはずが、福島第一原発の事故で一転する。榮子さんが暮らす福島県飯館村は全村避難となり、ひとりで仮設住宅で暮らすことになった。支えは親戚であり友人の菅野芳子さん。芳子さんは避難生活で両親を亡くし、榮子さんの隣に移ってきた。「ばば漫才」と冗談を飛ばし互いを元気づけ、仮設暮らしを始めた。

榮子さんは「食べるものは自分で作る」との信条を貫き、仮設の近くに畑を借りてさまざまな作物を収穫する。漬物、おはぎ、にんじんの胡麻和え…「おいしいよ」と笑顔で手料理を食卓に並べる。飯館村の食文化を途絶えさせまいと、味噌や凍み餅の作り方を、各地に出向いて教えている。

飯館村では帰村に向けた除染作業が行われている。だが高い放射線量、変わり果てた風景…。ふたりは先の見えぬ不安を語り合い、泣き笑いながら、これからを模索していく。

＜製作：映画「飯館村の母ちゃん」制作支援の会＞  
<http://www.iitate-mother.com>

震災後の福島 二つの物語 映画上映会



**春よこい**  
 ～熊と蜂蜜とアキオさん～  
 監督 / 撮影：安孫子亘  
 65分 / 2015年

奥会津のマタギ猪俣昭夫  
 金山の自然と共に生きる感動の物語

舞台は福島県奥会津の金山町。2011年3月11日東日本大震災・原発事故の影響は、130キロ離れた金山町の自然にも降り注いだ。野生生物をはじめ、観光資源であるヒメマスまでもが汚染された。

ここに暮らすマタギ猪俣昭夫は、生き物の猟をしながら汚染された山、川、湖と向き合い、元の金山町の自然を取り戻すべく献身的な日々を送っている。マタギの生業は熊を撃つことだけではない。山の神を敬い、おきてに従い熊を撃つ。そして、人と自然が共に暮らす術をマタギは教えてくれる。これからのマタギは何をすべきか。若者を自然界に誘う新しいマタギの世界をこの奥会津に見た。

原発事故以来、世界中が自然との共生へと歩み始めた。自然とは何か。猪俣昭夫は、黙々と自然の大切さを説いた。やがてすべてが戻る日を願い、金山の急峻な山を見上げた。

＜企画・製作・配給：ミルインターナショナル＞  
<http://www.miruphony.com>

2018年11月15日(木) (13時00分開場)

上映祭

場所 多目的室 (定員100名)\*【無料】

- 13時30分 『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』 上映
- 15時20分 『春よこい～熊と蜂蜜とアキオさん～』 上映
- 16時40分 ケーナ生演奏 (東出五国さん、他)
- 17時00分 ゲスト特別トーク「震災後の福島を撮る」

2018年11月17日(土) (15時20分開場)

鑑賞会

場所 第2会議室 (定員60名)\*【無料】

- 15時40分 『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』 上映
- 17時30分 『春よこい～熊と蜂蜜とアキオさん～』 上映

\* 両日、参加に予約は必要ありませんが、定員になり次第受付を終了いたします。余裕をもってお越し下さい。心よりお待ちしております。



『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』監督 古居みずえさん  
 1948年島根県生まれ。アジアプレス所属。日本ビジュアル・ジャーナリスト協会会員。1988年よりイスラエル占領地を訪れ、パレスチナ人による抵抗運動インティファダを取材。特に女性や子どもたちに焦点をあて、国際的な取材活動を続けている。『ガーダ パレスチナの詩』(2006年、第6回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞受賞)、『ぼくたちは見たガザ・サム二家の子どもたち』(2011年、坐・高円寺ドキュメンタリー大賞受賞)を制作。



『春よこい』監督 安孫子亘さん 1959年北海道生まれ。NHK『ダフニとエレナの物語』など特別番組で数々の作品賞受賞。1995-69年ケニアへ移住。以来、自然美を撮影。2009年映画製作を開始。2011年3月11日の震災を契機に基盤を福島県に移す。槍枝岐歌舞伎の背景を写し取った『やるべえや』(2011年)、会津の語り部を記録する『生きてこそ』(2013年)、本作『春よこい』(2015年)、元福島県知事が政治生命を絶たれた不可解な過程を映像化した『知事抹殺の真実』(2016年)と精力的に創作活動中。

上映祭 特別ゲストのご紹介



『春よこい』主人公 猪俣昭夫さん 福島県奥会津地域の金山町に暮らすマタギ、養蜂家、そして釣り師。鉄砲撃ちだった父の影響で23歳から猟をはじめ、40年以上経った今も現役で続ける。かつて大勢いた鉄砲撃ちたちは時代とともにその数を減らし、金山町で古くからの伝統や文化を受け継ぐ現役の鉄砲撃ちは猪俣さんのみ。



『春よこい』の主題曲「夕映え」作曲・演奏 東出五国さん  
 1941年北海道出身。埼玉県在住。30歳の時にケーナを独学で学び、1972年日本で最初のフォルクローレグループ「ロスコージャス」を結成。のち地元で「グルーボンシコバイス」を結成。福島県川俣町で長沼康光氏と知り合い、1975年に「コスキン・エン・ハボン」全国フォルクローレ大会を立ち上げた。毎年川俣町の小学校四年生に手作りケーナを贈って15年になる。「ケーナの響く里」川俣町は東出氏の第二のふるさと。

＜内容に関するお問い合わせ先：主催者 クレアリー寛子＞  
 Email: hcrary@freestroke.net 電話: 050-5806-9984

会場 二本松市市民交流センター  
 〒964-0917 二本松市本町二丁目3-1 TEL 0243-24-1215

＜徒歩＞二本松駅前徒歩1分 ＜車＞東北自動車道「二本松IC」から旧国道4号線を東5分  
 ＜24時間立体駐車場＞ 126台、有料 (開館時間内1時間まで無料。以降1時間100円)